校報１号　令和５年　４月16日発行

校報

わが東中

校訓：共に羽ばたく

能代市立
能代東中学校

文責
谷内　直毅

令和五年度がスタート

令和５年度、能代東中学校では38名の新入生を迎え、全校生徒104名で新年度をスタートしました。生徒に携わる職員は、校長はじめ９名の転入職員が加わり24名です。（裏面参照）今年度も、東中の学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

６日に行われた新任式で教頭先生が８名の転入職員（市職員等を含む）を紹介した後、生徒会長大越理玖さんが全校生徒を代表して歓迎の言葉を述べました。

新任式に引き続き行われた前期始業式では、２年生代表の工藤裕雅さんが、学習内容が更に難しくなると思うので気を引き締めて授業を受けたいという学習面での抱負と、後輩に教える立場になるので手本となれるように、まじめに取り組みたいと部活動での抱負を述べました。

続いて３年生代表の戸松美羽さんが、受験生として学習時間を増やし、予習とその日の復習を頑張ること。日々の部活動の練習に一生懸命取り組み、悔いが残らないようにすること。キャプテンとして部活動を盛り上げていきたいこと。衛生委員会の副委員長として、全校生徒の健康を衛生委員会の副委員長として、全校生徒の健康を守れるよう委員長と協力し、委員会を活発にしていきたいこと。以上大きく三点について抱負を述べました。生徒会からは副会長佐藤健心さんが代表の言葉を述べました。三人の発表する姿、内容から、進級を機に頑張っていこうとする思い、先輩としての自覚が伝わってきました。

校長からは新型コロナも落ち着いてきてはいるが、自分の身は自分で守れる中学生になつてほしいということ、上級生として学校をリードしていってほしいこと、困難にぶつかり、心が折れそうになったとき、立ち直ろうとする力「レジリエンスの力」を強くしてほしいことについてお話ししました。

この力を強めるために、自分ならできると思うこと、やってみようとチャレンジすること、失敗しても結果と向き合うこと、例えば部活動や勉強で自分を振り返り、次に向けて改善点などを見いだすことに取り組んでほしいとについて話しました。

38名が元気に入学

７日の午後、新入生38名が担任の点呼を受け、立派に返事をし、晴れて東中生の一員となりました。

校長がお祝いの言葉を、ＰＴＡ会長伊藤純子様が祝辞を述べました。生徒会副会長鎌田和奏さんの温かかい歓迎の言葉に応え、新入生代表青山理子さんが誓いの言葉を述べました。学習では課題を追究し興味を広げること、学び合いを通して違う考えを吸収し学ぶ楽しさを味わいたいこと、運動部に入り、仲間と技を磨き合い、チャレンジ精神をもって努力していきたいこと、先輩を敬い、自分を鍛えていきたいことについて話しました。

校長からは、今抱いている思いを大切にしてほしいこと、部活動や学校行事、受検などで羽ばたくときに向け、仲間と協力し合い力を蓄えてほしいこと、目指す生徒像「考え、学び合う人」「心豊かな人」「たくましい人」「支える人」を意識し、助け合える仲間をつくってほしいことなどについて話しました。

令和５年度、「安心・安全な学校」「地域に元気を届ける学校」をめざし、保護者、地域と連携を進めていきたいと考えております。よろしくお願いします。

学校教育目標　心豊かに　たくましく　夢に向かって　自らを高めていく生徒の育成